

「勝負の夏」大平さん、中国5県を駆ける

米子では長谷川稔市民連合代表が応援に

総選挙での議席奪還へ向けた「勝負の夏」です。大平さんはこの一週間で岩国市、萩市、阿武町、倉敷市、総社市、福山市、広島県中部地区、米子市、雲南市を駆け回り「比例は日本共産党」と訴え抜きました。



米子市住吉支部の「つどい」には、元倉吉市長で市民連合代表の長谷川稔氏が駆け付け「衆院選は比例が勝負どころ。日本共産党の支持を広げ大平さんを国会へ」と呼びかけてくれました。（写真左は倉敷市の決起集会、右は山口県萩市での訴え）

すみよしさん 倉敷市で「五輪より命優先の政治を」と訴え



岡山県党は小選挙区予定候補を先頭に連日のキャラバン宣伝を行っています。

衆院比例予定候補のすみよし聡美さんは、23・24・25日の3日間、垣内雄一衆院4区予定候補と一緒に、街頭演説と

「つどい」に取り組んでいます。「五輪より命を大切に政治を」の訴えに大きな反響が寄せられています。

鳥取県東・中部地区委員会が「選挙学校」開く

7月25日、鳥取県東・中部地区委員会が塚田県委員会書記長を講師に「選挙学校」を開催しています。

参加者からは「都議選応援の話が面白かった」「選挙学校に初めて参加しました。いろいろ提起されていますが、なかなか殻が破れないのが悩みです。そんな中で、新しくポスターを張らせてもらえた所が2か所できて嬉しく力をもらいました」「オンライン、SNSの学習会を開いてください。スマホの初心者で、てんで判らない」などの声が寄せられています。